

拠出金名：北太平洋海洋科学機関拠出金

分担金・義務的拠出金の有無		有（農林水産省）		無	
当該機関等に対する分担金を含めた平成19年度の拠出総額				30,486千円	
国際機関等名	北太平洋海洋科学機関 (英文名称・略称) North Pacific Marine Science Organization (PICES)				
種 別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	農林水産省国際協力課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千加ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成19年度	19,053	184.98		1加ドル = 103円	100
平成18年度					
平成17年度					
当該拠出金の目的・用途等		能力開発の為のワークショップ開催、データベース構築、専門家派遣			
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2007年のもの)				国際機関等の財政 (2007年度決算)(千加ドル)	
	国 名	金額 (千加ドル)	拠出率(注) (%)		
1位	農林水産省	184.98	42.5	当該年度の収入 2,058.967	
2位	カナダ水産海洋省	125.6	28.8	当該年度の支出 1,235.802	
3位	北太平洋調査評議会(米)	46.31	10.6	次年度への繰越 823.165	
4位	米国海洋水産局	43.52	10.0	会計検査機関名	
5位	ソウル大学	19.2	4.4	Flader and Hale	
当該機関等に対する我が国としての評価 (当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
PICESは北太平洋における生物資源、生態系、環境、気候、陸域と海域の相互関係、人為的影響等に関する海洋科学の促進と調整、情報・資料の収集と交換の促進のための国際協力を主たる活動内容とし、1992年に設立された国際機関である。加盟国は日本、韓国、米国、カナダ、ロシアの6カ国であり、事務局はカナダに所在する。運営は総務会のほか、行財政委員会、科学評議会、生物海洋委員会、海洋環境委員会など24の科学委員会や作業部会で構成され、それぞれ専門研究者によるワークショップや開発途上国への能力開発、他の国際機関と共同した科学シンポジウムを開催し、幅広い連携・協力を実施している。各国とも水産関係研究機関、行政、大学が主に参加しており、近年の地球温暖化等の環境変動と海洋生態系や水産資源に及ぼす影響の解明といった重要課題に取り組んでおり、同機関を評価している。					
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価					
同機関は総務会の下、8名の事務局で運営している。各国代表2名で構成される総務会では、積極的な課題解決に資する組織とするため、年次会合等において効果的な組織作りを目指しており、我が国としてもその取り組みを評価するところであり、今後ともより効果的な国際機関としての役割を果たせるよう、積極的にかかわっていく。					
邦人職員数 うち幹部以上	1人 うち 1人		当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	8人 12.5%	
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考	
議長		和田 時夫		(独)水産総合研究センター	
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
平成22年に予定されている次回議長選挙に、邦人立候補者を推挙する予定。					

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。